

コンセプトムービー制作により地域の魅力再発見の意義を伝わりやすくした

Rediscover Tsuyama

活動の目的

Rediscover Tsuyamaは、地域を舞台に異文化交流を通じて地域固有の生活文化の再発見のきっかけを生み出し、文化の継承や人材育成につながるプラットフォームになる。文化の継承は、地域の刻々と失われつつある、または様々な要因で相対的に関心が薄れつつある地域固有の生活文化に改めて目を向ける機会をつくることを目指す。人材育成は、地域理解を深めながら国際交流できる機会を日常的に提供することで、特に地域の若い世代に国際的な感覚を養える社会的教育環境を創出することを目指す。

活動の内容及び経過

2017年までメンバーの多くが個人活動の中でそれぞれ経験と想いを温めてきた。2017年12月団体設立。主な成果として、「インバウンド向け文化体験マップ作りによる津山の再発見と魅力化(2018年度)」「ガイド養成テキスト(2019年度)」を行い、「地域資源コンテンツの掘起し」「コミュニティを拡大」し活動を継続してきている。

2020年は、当初ガイド養成テキストを活用しての、まちあるきや人材育成を計画していたが、コロナ禍の影響が大きく、オンライン等での波及効果の大きくなることを意図し、活動の内容を変更し、コンセプトムービーの制作を行った。

活動の成果・効果

主な成果品として、コンセプトムービー（国内向け版のロングバージョン、海外向け版のショートバージョン）を制作した。

制作の過程において、モデルとして出演した高校生2名に実際の手仕事体験や作り手と対話をし、ドキュメンタリーのように収録した。作り手にとっても、日頃の活動を、客観的にその価値を「見える」ように伝えることができ、記録としても、魅力の発信コンテンツとしても、形に残せたことも成果。

上映会では、感嘆の声など、臨場感あふれる姿が随所に見られ、上映会でも視聴者も自ら体験しているかのような共感を生み出すことにつながられた。

コンセプトムービーはオンラインで視聴可能にしたことにより、今後も継続して多くの方に視聴されることでRediscover Tsuyamaの目的とする想いの波及効果が期待される。

今後の課題と問題点

コロナ禍の影響もあり、大勢でのまちあるき活動企画を自粛しながら、活動の主旨の理解と認知度を高める別の方



制作にむけ事前調査(地域の文化を知る)



DESHI体験・地域の伝統技術を伝える撮影



世界へ発信を実現するムービーの上映会



上映後、関係者・地域の方との意見交換会

法とした体験活動の企画を大勢に直接的に広めることから、コンセプトムービーとして記録し広く発信することに変更した。

今後も、国際交流や観光、地域でのかかわり方にも従来とは違う対応が必要となる可能性がある。また、地域資源の保存継承に関わる環境は、厳しい傾向が続くと思われるので、オンライン等も駆使して新しいかかわり方の試みや地域の若者育成等の活動を続けていきたい。

- 代表者：チャールズ裕美 ●所在地：英田郡西粟倉村長尾
- TEL：0868-75-3144 ●E-MAIL：nokishita.toshokan@gmail.com
- URL：https://www.facebook.com/RDTsuyama/
- 設立年：2017年 ●メンバー数：10名